

第2章 人口等の推計

- 第1節 人口構造及び高齢化の状況
- 第2節 被保険者数の推移
- 第3節 要支援・要介護認定者数の推移

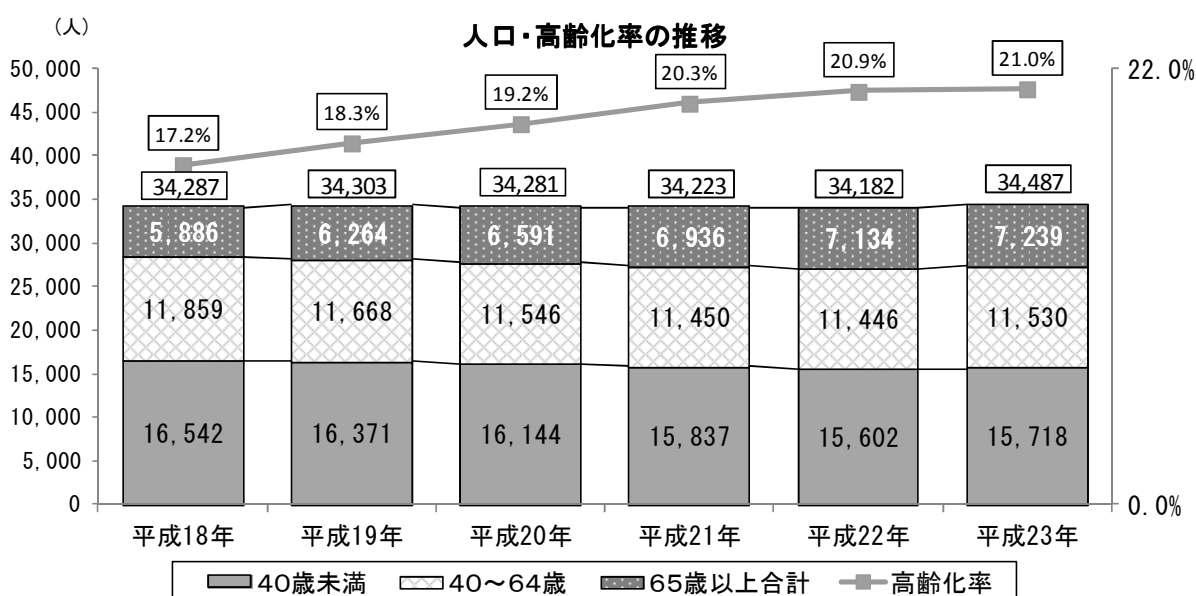
第2章 人口等の推計

第1節 人口構造及び高齢化の状況

(1) 人口の推移

本町の総人口の推移をみると、平成18年以降横ばいで推移していましたが古宮地区の大規模開発などもあり、平成23年は前年より約300人増加しています。

また、高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は年々上昇しており、平成23年は21.0%となっています。



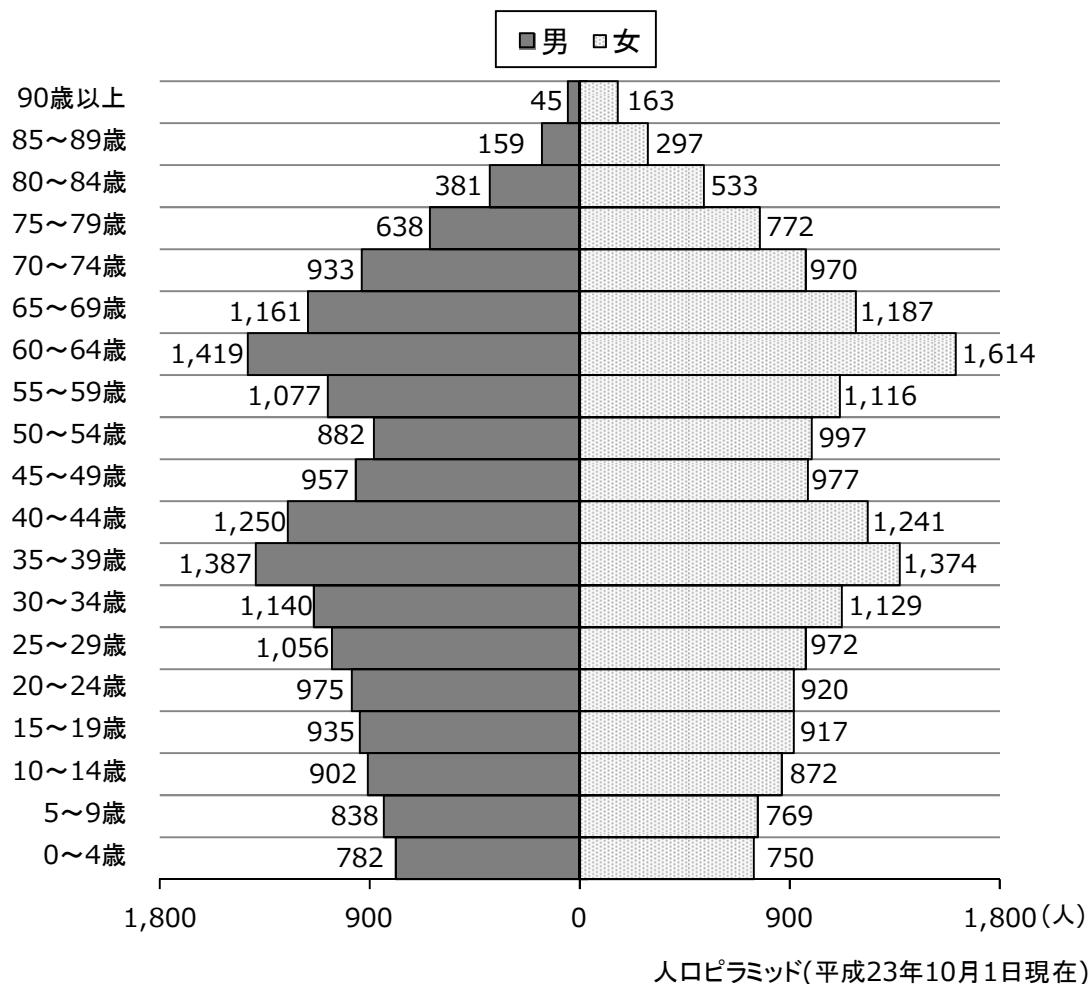
高齢者の内訳をみると、平成23年10月1日には前期高齢者4,251人（総人口比12.3%）、後期高齢者が2,988人（総人口比8.7%）となっています。3年前（平成20年）と比べると前期高齢者が214人（+0.5%）、後期高齢者が434人（+1.2%）増加しています。

（単位：人）

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
総人口	34,287	34,303	34,281	34,223	34,182	34,487
0~39歳人口	16,542	16,371	16,144	15,837	15,602	15,718
比率	48.2%	47.7%	47.1%	46.3%	45.6%	45.6%
40~64歳人口	11,859	11,668	11,546	11,450	11,446	11,530
比率	34.6%	34.0%	33.7%	33.5%	33.5%	33.4%
65~74歳人口	3,629	3,860	4,037	4,217	4,322	4,251
比率	10.6%	11.3%	11.8%	12.3%	12.6%	12.3%
75歳以上人口	2,257	2,404	2,554	2,719	2,812	2,988
比率	6.6%	7.0%	7.5%	7.9%	8.2%	8.7%

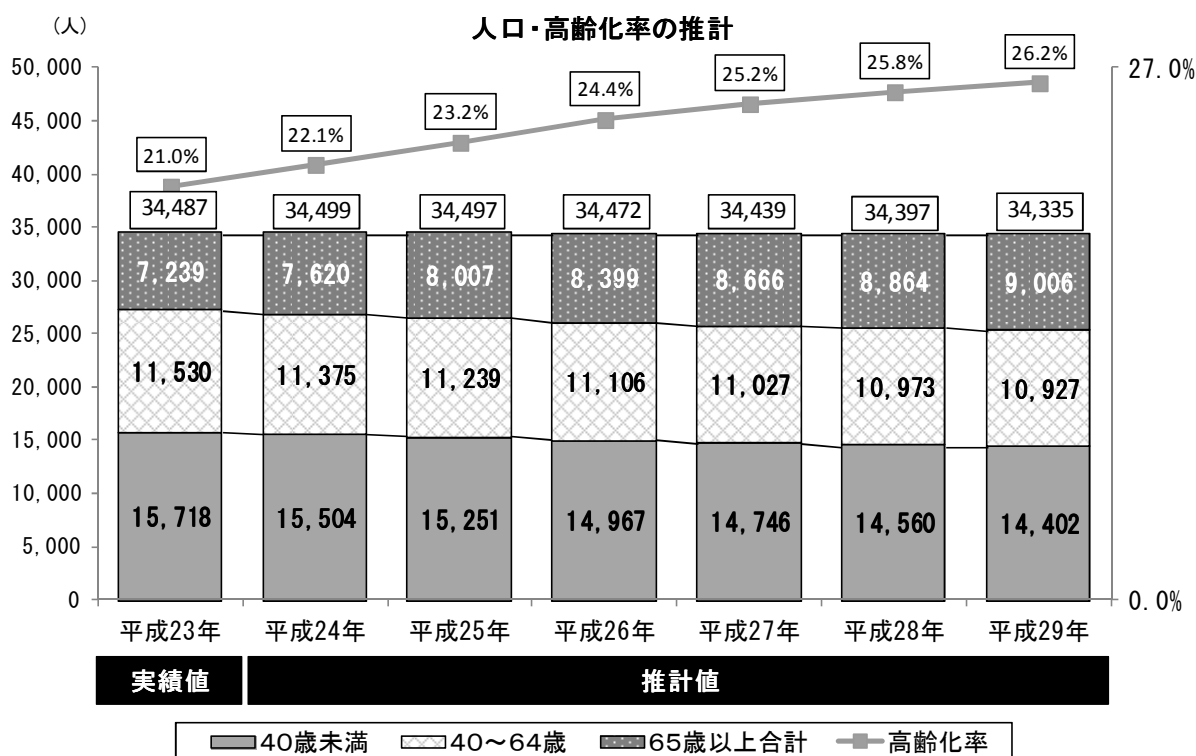
※資料：播磨町住民基本台帳及び外国人登録人口（各年10月1日現在）

団塊の世代を含む60歳～64歳の人口が最も多く、次いで35歳～39歳、いわゆる団塊ジュニアの世代が多くなっています。本町においても団塊の世代の高齢化に合わせた取組みが重要となります。



(2) 将来人口推計

人口推計の結果をみると、総人口はほぼ横ばい傾向から次第に減少傾向を示しています。高齢化率は平成 23 年の 21.0%から更に上昇し、3 年後の平成 26 年度では 24.4%、6 年後の平成 29 年には 26.2%になると推計しています。



※コーホートセンサス変化率法にて推計

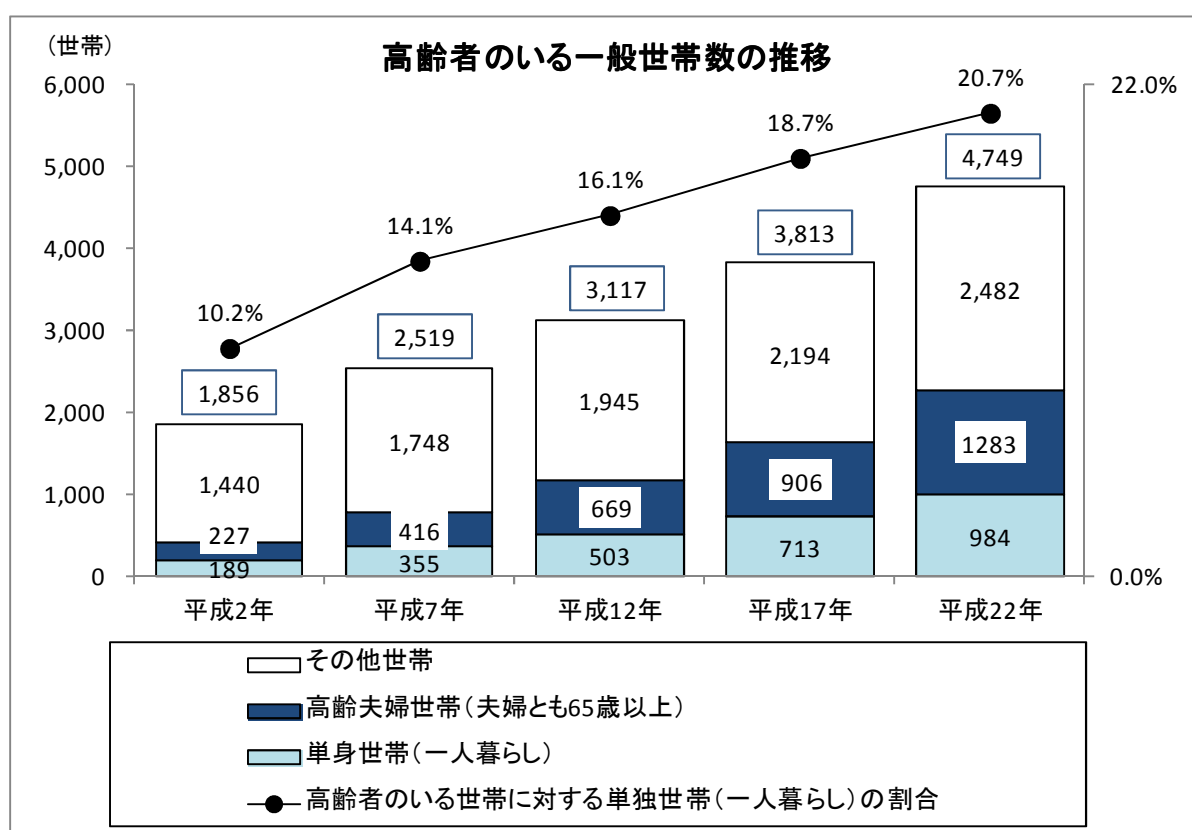
※人口推計の手法（コーホートセンサス変化率法）：

コーホートとは、同年（または同期間）に出生した集団のことをいい、また、センサス変化率法とは、各コーホートの過去の変化率が将来も続くものと仮定して、その率を基準年の人口に掛けて将来の人口を求める方法です。本計画の人口推計では、男女別に各年齢の平成 18 年（2006 年）から平成 23 年（2011 年）までの変化率の平均を算出し、直近の平成 23 年（2011 年）の男女別の各年齢人口実績に掛けることで平成 24 年（2012 年）以降の推計を行っています。

(3) 高齢者のいる一般世帯の推移

平成22年の高齢者のいる一般世帯は4,749世帯で、一般世帯総数(12,557世帯)の37.8%を占めています。介護保険制度が開始した平成12年の3,117世帯の約1.5倍となっています。

高齢者のいる世帯の内訳をみると、平成12年からの10年間で単身世帯(一人暮らし)1.96倍、高齢夫婦世帯(夫婦とも65歳以上)1.92倍と特に伸びており、この二つを合わせると2,267世帯で、高齢者のいる一般世帯の47.7%と半数に近づいています。



資料：国勢調査

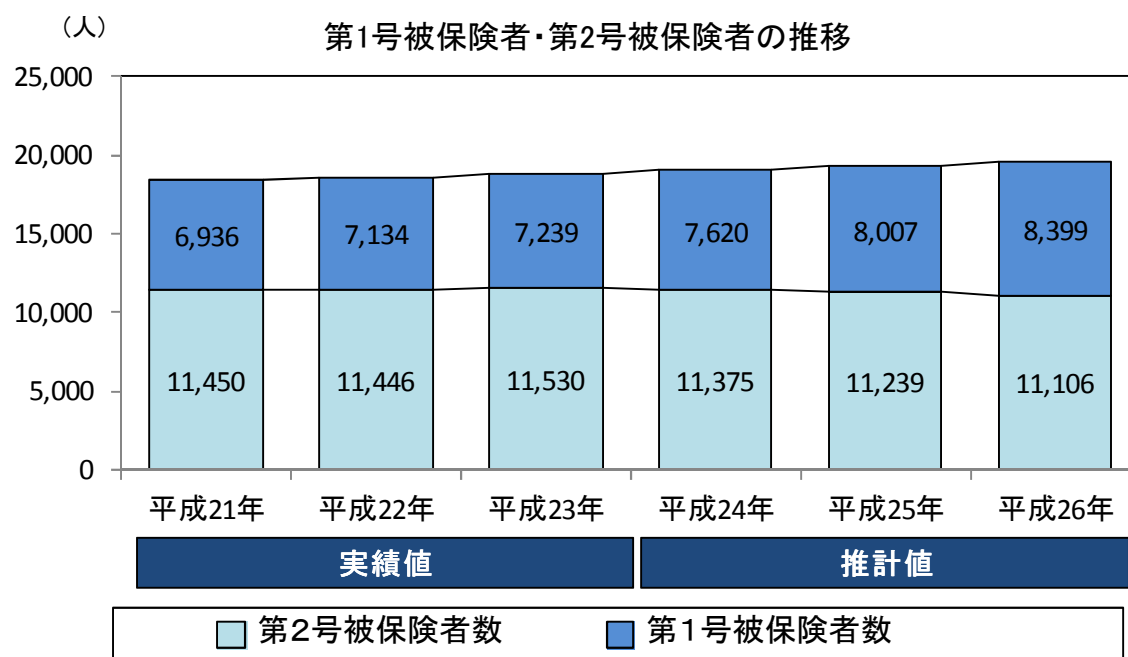
第2節 被保険者数の推移

被保険者数の推移をみると、平成24年から平成26年の第1号被保険者の合計は24,026人で、平成21年から平成23年の合計21,309人より約2,700人増加しています。

また、第2号被保険者は平成24年から平成26年の合計は33,720人で、平成21年から平成23年の合計34,426人より約700人減少しています。

(単位：人)

	実績値			推計値		
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
第1号被保険者	6,936	7,134	7,239	7,620	8,007	8,399
65～69歳	2,495	2,505	2,348	2,454	2,556	2,674
70～74歳	1,722	1,817	1,903	2,027	2,148	2,315
75～79歳	1,340	1,342	1,410	1,464	1,518	1,524
80～84歳	786	833	914	974	1,032	1,087
85歳以上	593	637	664	701	753	799
第2号被保険者	11,450	11,446	11,530	11,375	11,239	11,106
合計	18,386	18,580	18,769	18,995	19,246	19,505

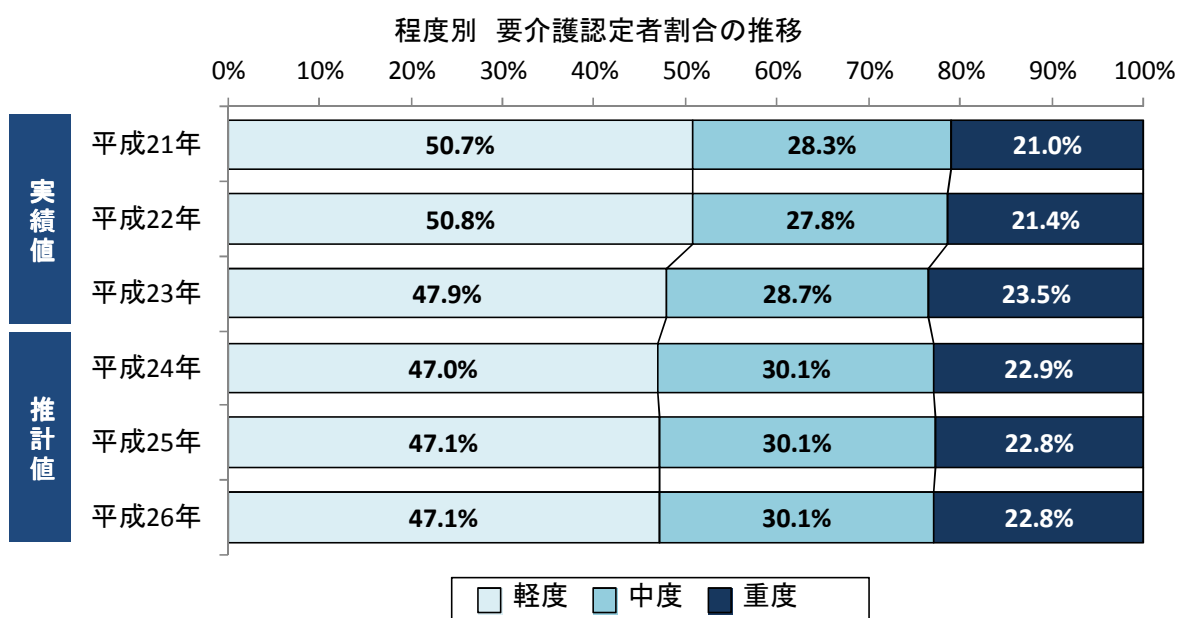
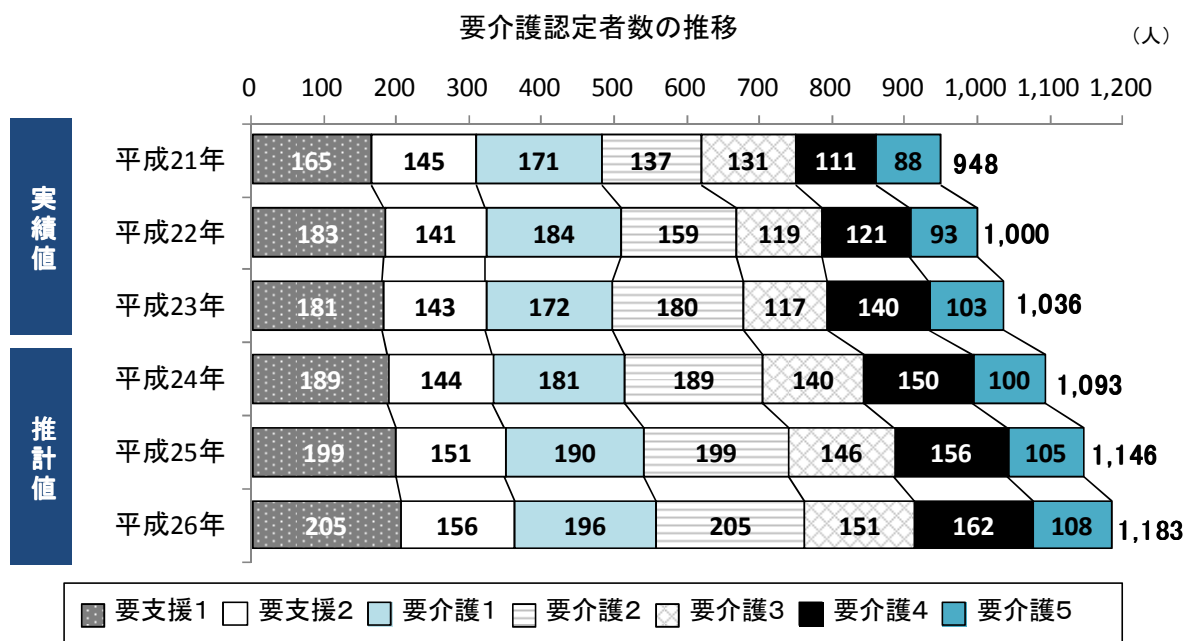


※高齢者人口=第1号被保険者、40～64歳人口=第2号被保険者とした場合

第3節 要支援・要介護認定者数の推移

人口推計の結果をもとに、要支援・要介護認定者の推計を行いました。

高齢者の増加に伴い、認定者数の増加が見込まれます。平成26年では1,183名の見込みとなっており、平成23年と比べ約150人の増加を見込んでいます。



※軽度（要支援1、要支援2、要介護1）、中度（要介護2、3）、重度（要介護4、5）

※資料：介護保険事業状況報告（各年9月末）

